

早稲田大学 オープンカレッジ 2025年12月06日

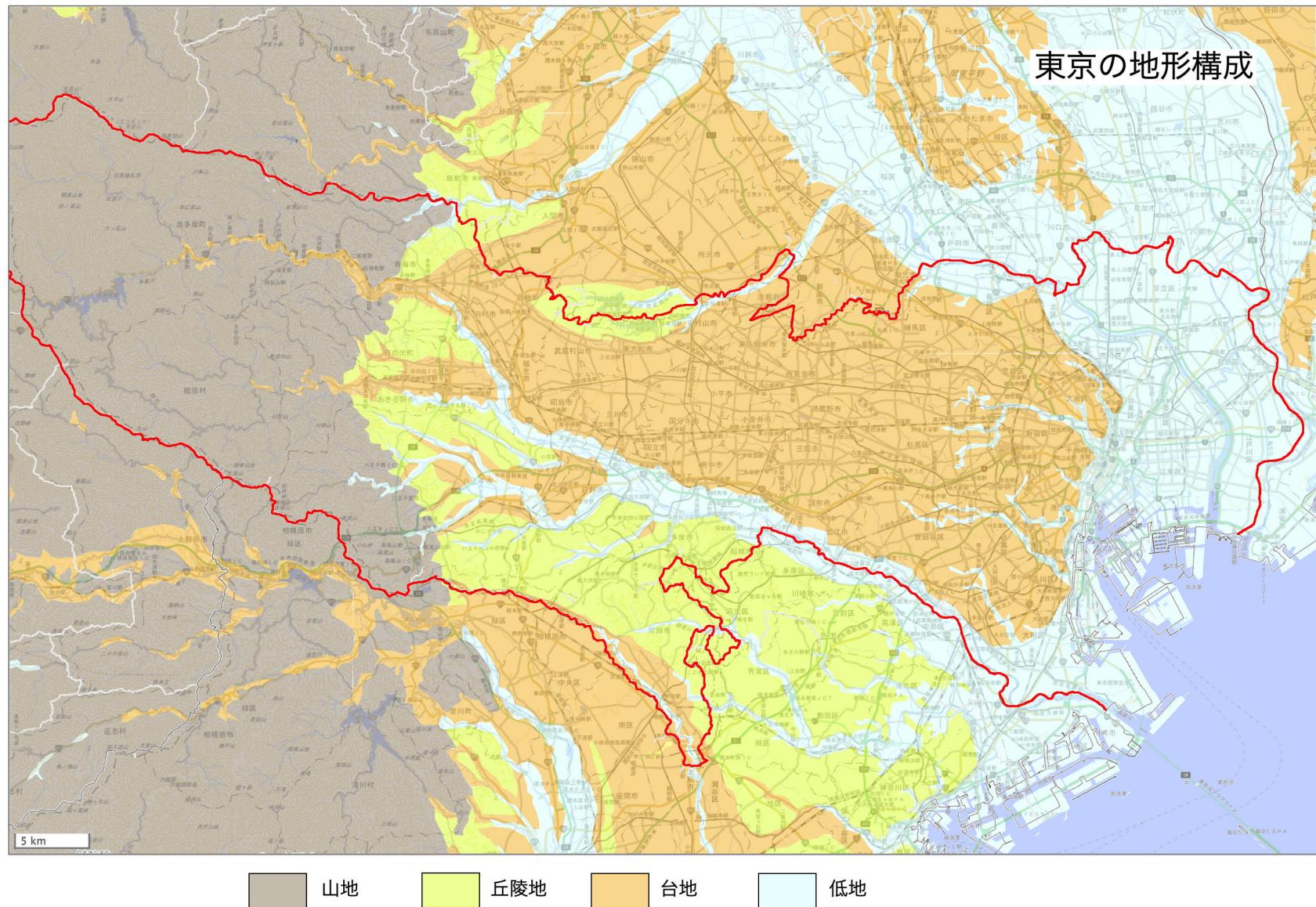
都市景観としての地形

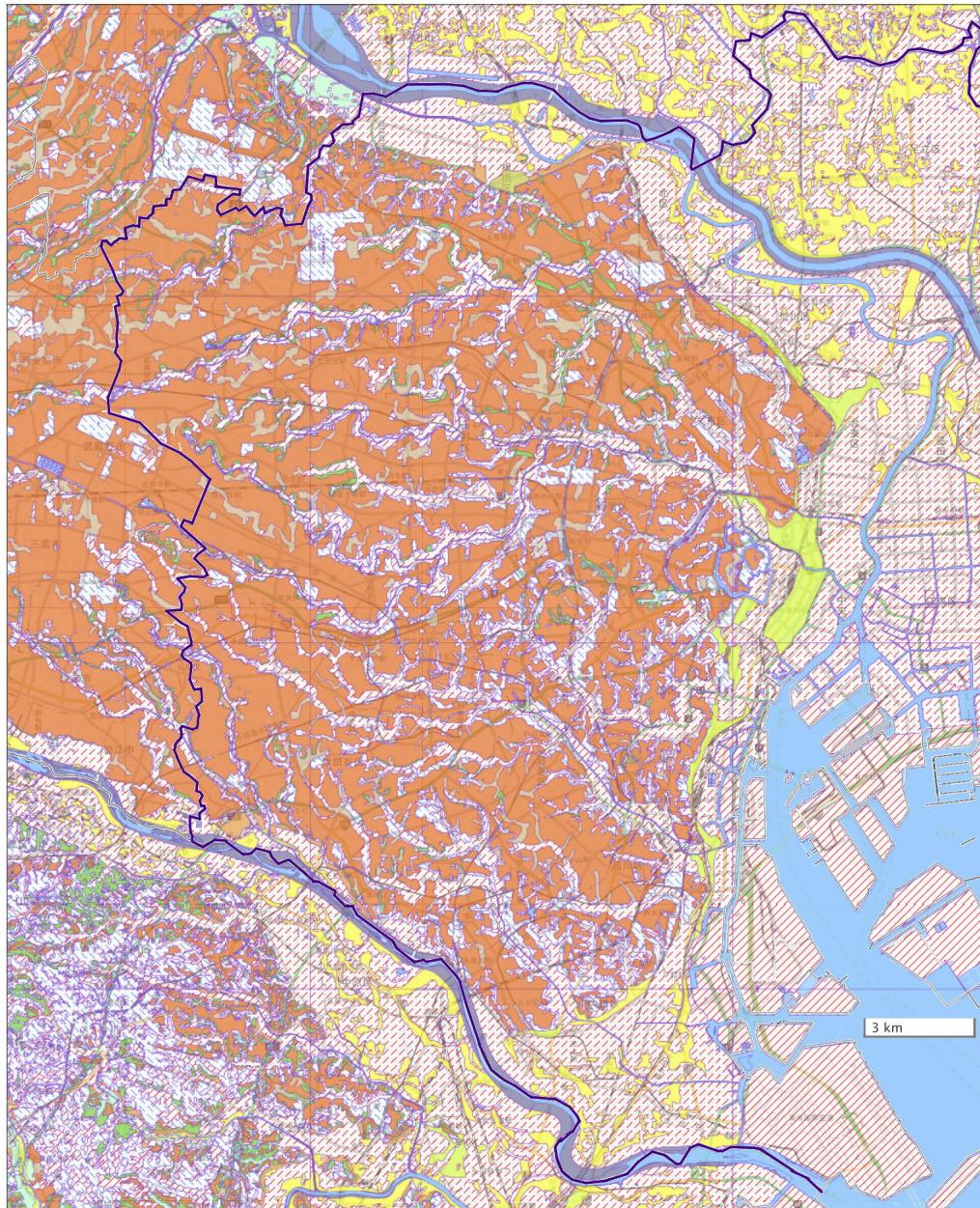
～地形で見る東京：その魅力と謎～

【寄藤 昂】

1. 東京の地形を概観する

- ・東京（本土）の地形は「山地・丘陵地・台地・低地」で構成される
- ・山地・丘陵地は本来の江戸ではなく、自然に拡大した範囲でもない
---> 明治以降、神奈川から東京に編入した理由は「水源」
- ・東京23区に限れば、地形は「台地・低地・台地を刻む谷」で構成
- ・台地と低地の境、台地に刻まれた谷の一部側面は「斜面・崖」となり
そこを往来するために「坂道」が生まれた





東京23区 台地地域の地形
(数値地図25,000 土地条件に加筆)

配色	分類項目	説明
台地の一般面	台地（更新世段丘面）	台地の一般面のうち、更新世に形成されたもの。
	台地（完新世段丘面）	台地の一般面のうち、完新世に形成されたもの。
	台地（時代未区分）	台地の一般面のうち、形成年代が特定できないもの。
低地の微高地	河川沿いの微高地	現在及び過去の河川沿いにあって、河川の洪水によって形成された微高地。
	砂州・砂堆・砂丘	砂州・砂堆は、現在及び過去の海岸、湖岸沿いにあって、波浪や沿岸流によって形成された、砂または礫からなる微高地。 砂丘は、現在及び過去の海岸、湖岸、河川沿いにあって、風によって運ばれた砂からなる小高い丘。
	天井川沿いの微高地	現在及び過去の河床が低地の一般面より高い河川に沿って形成された微高地。
低地の一般面	凹地・浅い谷	台地の一般面上にあって、相対的に低い地形、又は、砂州・浜堤上、砂丘上にあって、相対的に低い地形。
	扇状地	河川が山地から平地に移る場所にあって、主として砂礫からなる扇状の堆積地形。
	谷底平野・氾濫平野	山地や台地を刻む河川の堆積作用が及ぶ平坦地、及び河川の堆積作用により形成された広く開けた平坦地。
低地の微低地	海岸平野・三角州	過去の浅海堆積面が海退により陸化した平坦地、及び河川の河口部にあって、主としてシルト、粘土からなる平坦地。
	後背低地	河川の堆積作用が比較的の及ばず、主として粘土や泥炭からなる沼澤性起源の低湿地。
	旧河道	谷底平野・氾濫原及び海岸平野・三角州上にあって、過去の河川流路の跡。
地表形水	河川敷・浜	堤外地のうち、高水時に冠水する部分、及び暴浪時に冠水する海岸の岩場、砂礫地。
	湿地	地下水位が地表面に対して著しく浅い土地。
水部	水部	河川、湖沼、海、貯水池などの水面。
	旧水部	湖沼、海、貯水池などを盛土、埋立、干拓等により人工的に陸化したものの。
人工地形	農耕平坦化地	山地などを切り開いた農耕地。
	切土地	山地、台地などの造成地のうち、切取りによる平坦地または傾斜地。
	高い盛土地	約2m以上盛土した人工造成地。主に海や谷を埋めた部分。
	盛土地・埋立地	山地、台地、低地及び水部に土を盛って造成された平坦地または傾斜地。
	干拓地	水部を干して陸地化した土地。
	改変工事中の区域	データ整備時に、人工的に地形の改変が進行中の区域。

2. 東京の坂道

■ 歴史の中の坂道

- ・ 東京には多くの坂があるが、江戸時代前半には「名前」が付いた坂はさほど多くなかったとされる（横関）
- ・ 江戸後期になると、都市として拡大・発展した一方で、町人地以外は「町名」がつけられてなかったため、目印となる「坂」に名前が付くようになった（同）
- ・ また、頻発した大火の焼け跡でも「坂」がランドマークとなった
- ・ さらに、安藤広重らの著名な浮世絵師が、江戸の風景として「坂」を描いたことで、"有名な坂"という存在が生まれた

家光公長子延宗八年五月
八日逝去治世三十年

家光公三男家綱公嫡子人
和元任征夷大將軍大臣正
二位右近衛大將

御治世万々歳

吸	江戸惣鹿子名所大金一
麗園	不動坂
玉の座坂	菖坂
留町坂	留町坂
富見坂	長坂
無漏坂	一平坂
菜園坂	重坂
幸園坂	行人坂
早除坂	藻食坂
圓通寺坂	金剛寺坂
玉室坂	玉の本坂
靈南坂	経蔵園坂
作門坂	経倉坂
潮見坂	新切通坂
法眼坂	深戸見坂
大坂	玉瀬坂
車坂	水篠坂
笠坂	赤樂坂
唐崎坂	唐崎坂
淺水坂	淺水坂

新編
詩林

雜志編

五
師



江戸惣鹿子名所大全

一

吸

龍罔

不動吸

薦吸

もちの本吸

馬吸

櫛齒吸

笛見吸

長吸

一云吸

鯉鰐吸

雪吸

金剛吸

菜園吸

行人吸

金の本吸

禪除吸

蒸食吸

通元吸

圓通寺吸

紀傳圓吸

新通吸

玉堂吸

稻本吸

菜研吸

佐門吸

大吸

新通吸

潮見吸

車吸

新通吸

法郎吸

少焉吸

通水吸

新婦

淫

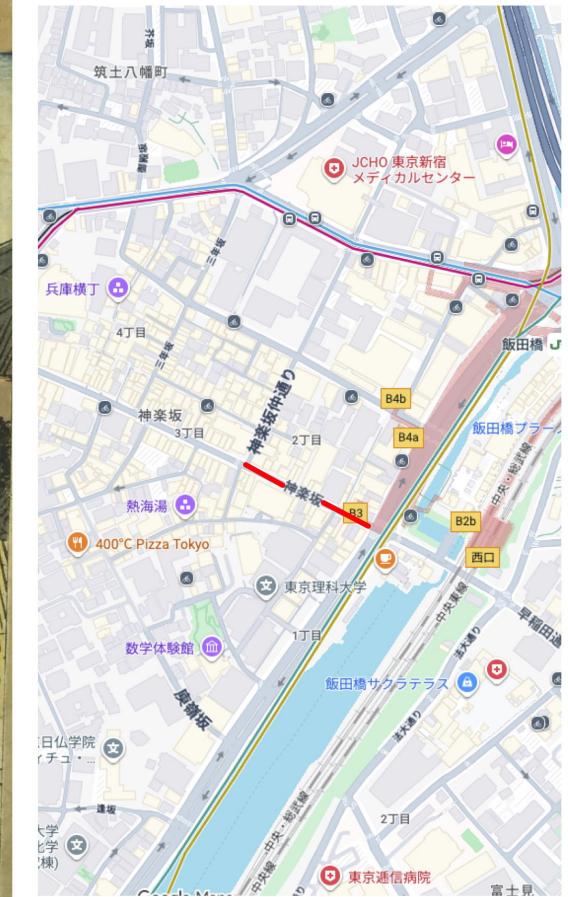
舞妻婦

立婦

摸齡



広重東都坂尽『江戸見坂』・国立国会図書館デジタルコレクション



広重東都坂尽『牛込神楽坂』・国立国会図書館デジタルコレクション



広重東都坂尽『飯田町九段坂』・国立国会図書館デジタルコレクション



広重東都坂尽『目黒行人坂』・国立国会図書館デジタルコレクション

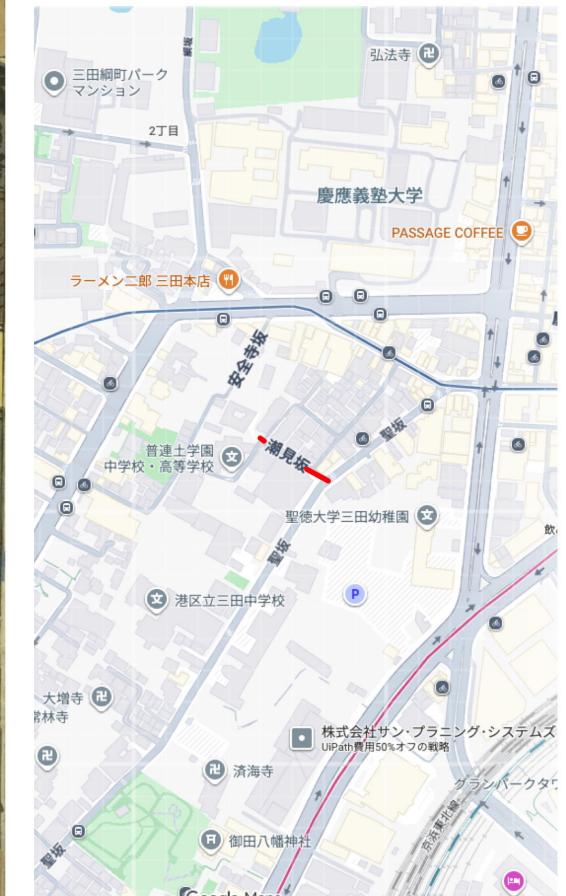




広重東都坂尽『品川大井八景坂』・国立国会図書館デジタルコレクション



広重東都坂尽『伊皿子潮見坂』・国立国会図書館デジタルコレクション





※既に消滅

広重東都坂尽『葵坂』・国立国会図書館デジタルコレクション

■ 東京の坂の数は？

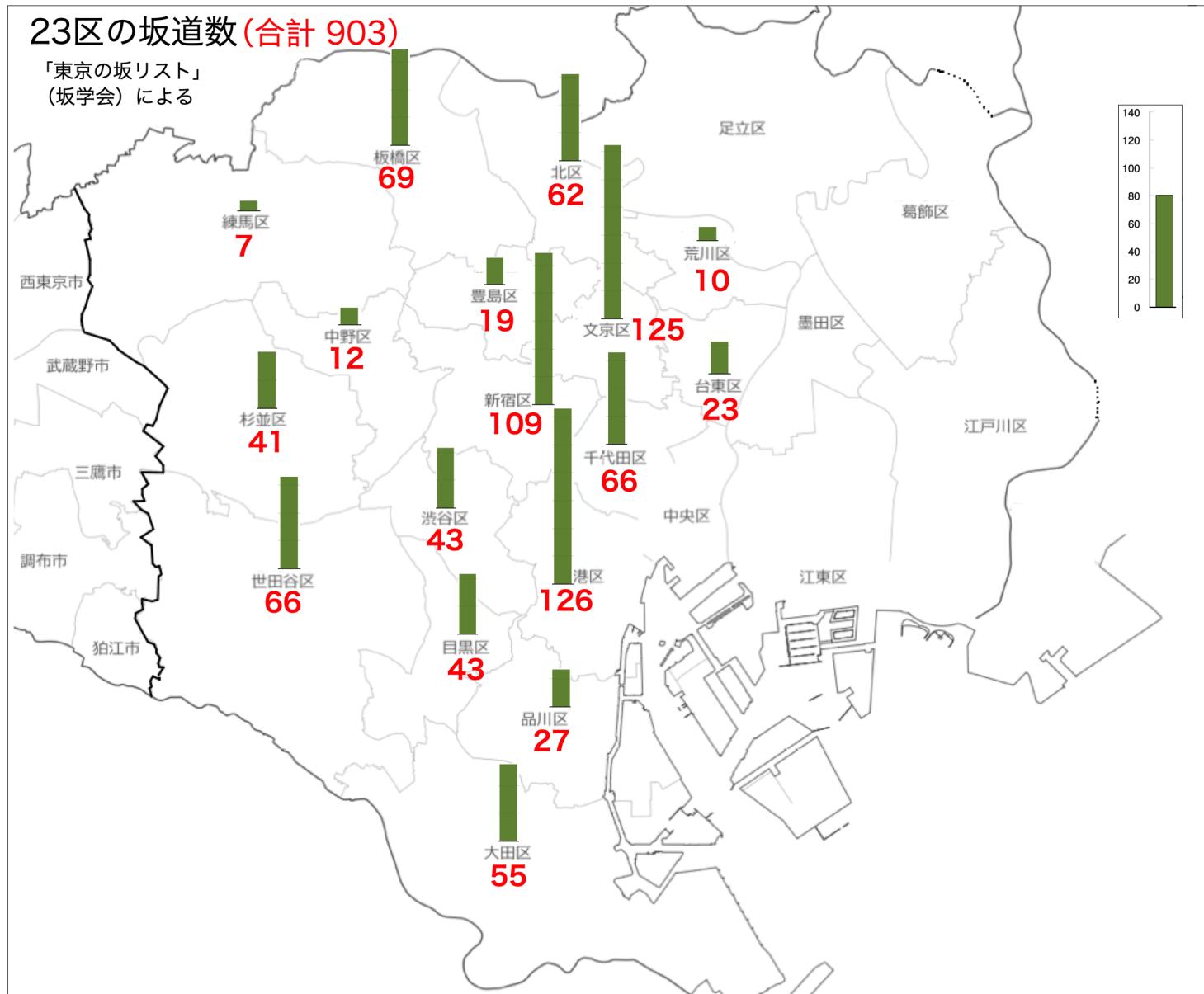
- ・認知される坂の数は戦前では多くても200程度であったが、戦後激増
- ・つまり、実は第二次大戦後に "命名" された坂が多い
- ・また近隣だけの俗称であったものを、道路管理の必要上行政が "確定" した例も
- ・さらに、地域の文化活動での旧称の掘り起こし、商業目的での新たな命名も加わった
- ・商業目的での命名では、渋谷パルコの依頼で近隣の店主が名付けた「スペイン坂」が良く知られる

著作に現れた江戸・東京の「坂」の数

西暦	年号	署名・著作名	編著者	坂名数
1682	天和2年	紫の一本	戸田茂睡	31
1690	元禄3年	江戸惣鹿子	藤田理兵衛	39
1733	享保18年	江府名勝志	藤原之廉	74
1735	享保20年	続江戸砂子	菊岡沽涼	48
1753	宝暦3年	万世江戸町鑑	野路昌蔵・坂本清右衛門	131
1829	文政12年	御府内備考	三島政行ほか	191
1836	天保7年	江戸名所図会	斎藤幸雄・幸孝・幸成	59
1890	明治23年	東京地理沿革誌	村田峰次郎	205
1907	明治40年	東京案内	東京市役所	193
1969	昭和44年	江戸の坂 東京の坂	横関英一	433
2006	平成18年	東京の地名と地形	東京都地質調査業協会	648
2025	令和7年	東京の坂リスト	坂学会	903

23区の坂道数(合計 903)

「東京の坂リスト」
(坂学会)による





スペイン坂 (渋谷新聞)



神楽坂通り (新宿観光振興協会)



竹下通り (原宿竹下通り観光ガイドマップ)

3. 坂道の魅力とは

■ いつ頃から「坂」への関心が・・

- ・ 実は、「坂・坂道」への関心が広がったのは1970年前後から
- ・ 横関英一による「江戸の坂 東京の坂」の出版が一つの契機となった
- ・ この頃から区役所や町内会・自治会による「坂標識」の設置が盛んに
- ・ 1976年の「歌会始」で御題が "坂" に
- ・ タモリの活動も

「坂」をめぐる状況

年	事項
1970年	「江戸の坂 東京の坂」 横関英一 出版
1970年～	港区、文京区などで標識設置が進む
1976年	「坂」が歌会始御題に
2000年	「日本坂道学会」（山野勝・タモリ）設立
2004年	『タモリのTOKYO坂道美学入門』 出版
2005年	「坂学会」発足
2006年	「江戸の坂 東京・歴史散歩ガイド」山野勝 出版
2007年	雑誌「東京人」4月号「東京の坂道特集」発行
2008年	「ブラタモリ」放送開始（NHK）
2011年	「乃木坂46」デビュー
2025年	「江戸東京の坂道」岡本哲志 出版

■ 日本人は坂が好き？

- ・ 欧米の都市では「通りの名」が主で、「坂」区間だけ命名は少ない
- ・ 一方日本では、「通り」は無名「坂」区間だけ命名という例が多い
- ・ 「坂」というのが、何か日本人の心に響く要素をもつのかも

題名に“坂・坂道”の付く小説

題名	著者	発表年
坂道	壺井 栄	1951
陽のあたる坂道	石坂洋次郎	1957
猫捨坂	豊島与志雄	1965
ながい坂	山本周五郎	1982
三年坂	伊集院静	1992
坂物語	佐藤洋二郎	2011
淡路坂	藤井邦夫	2011
幻坂	有栖川有栖	2016
初恋は坂道の先へ	藤石波矢	2017
夫婦坂	中西瑠璃	2021
東京のぼる坂くだる坂	ほしおさなえ	2021
坂の中のまち	中島京子	2024

タイトルに“坂・坂道”の付く楽曲

曲名	アーティスト	作詞者	発表年
坂道	井上陽水	小椋 佳	1975
夫婦坂	都はるみ	星野哲郎	1989
無言坂	香西かおり	市川 瞳月	1993
坂道	加藤いづみ	高橋 研	1994
坂道	堀内孝雄	荒木とよひさ	1997
坂道	コブクロ	小渕 健太郎	2000
坂道	イノトモ	イノトモ (自身)	2000
坂道	BONNIE PINK	BONNIE PINK (自身)	2007
坂道	wacci	橋口 洋平	2019
坂道	元山朋美	元山朋美	2021
坂	鈴木実貴子ズ	鈴木実貴子	2022

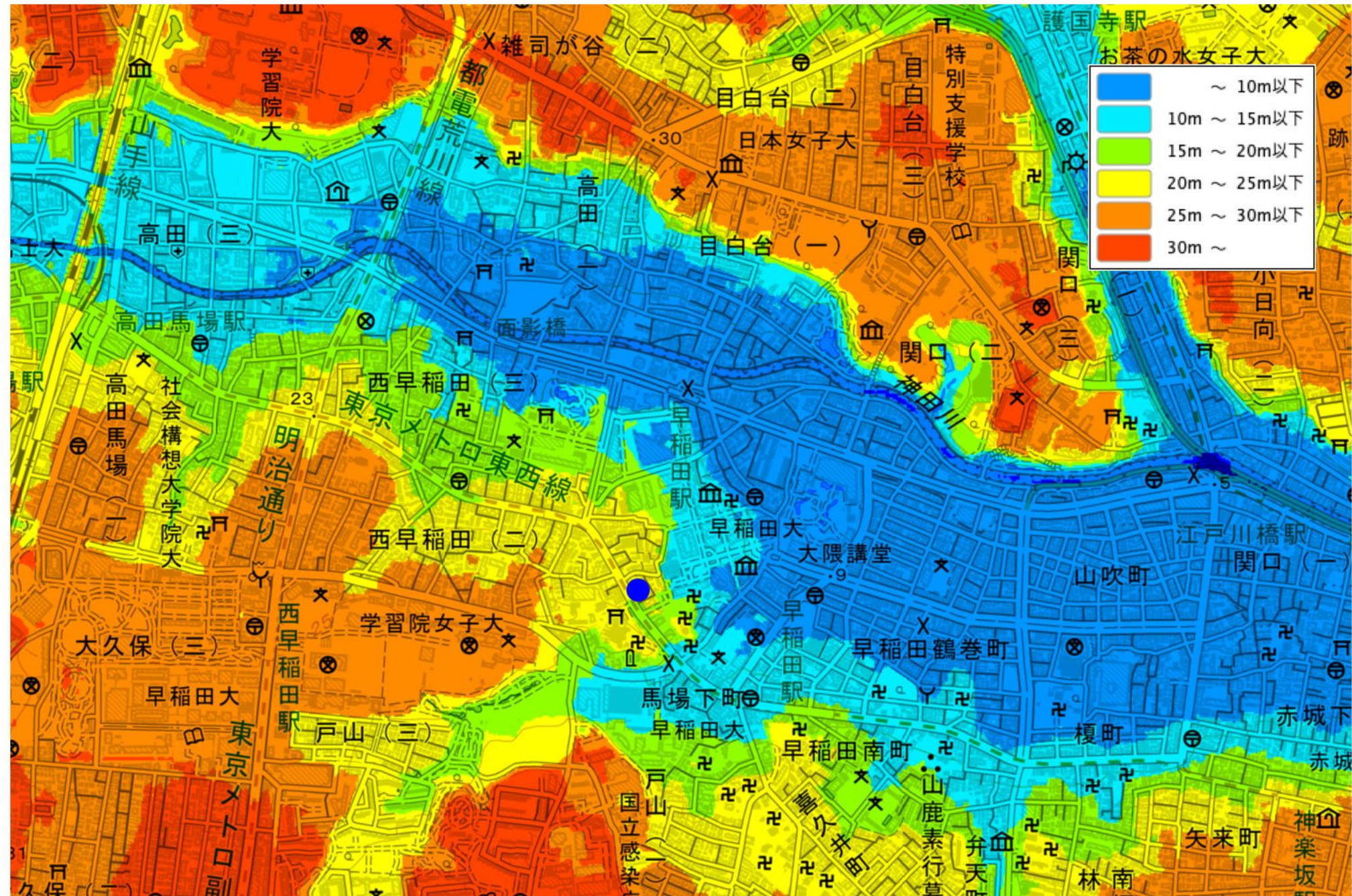
■ 坂道に関する研究は

- ・これまでの "研究成果" の多くは在野の人々によるもの
- ・その中で、学問的評価に耐えるのは横関らごく一部
- ・地理学分野では「坂」に関する研究は意外に少ない
- ・近年目立つのが建築・都市計画・土木系での調査研究
- ・松本直司（名古屋工業大学）らの「坂道における期待感」研究
- ・吉田秀樹（八千代エンジニアリング）「海と船が見える坂道」研究
- ・對梨成一「坂道の傾斜知覚の研究」は心理学と工学の接点

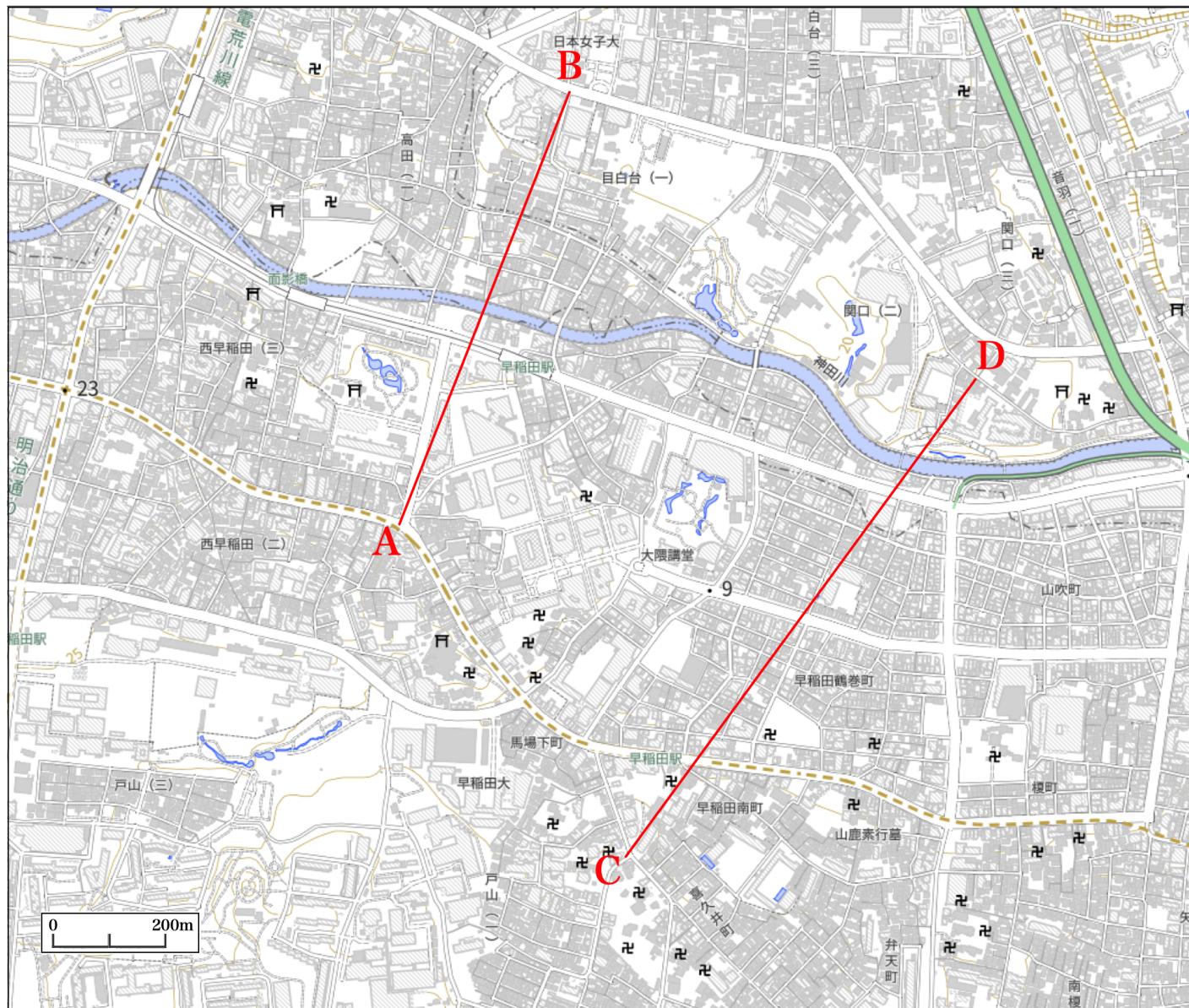
4. 早稲田周辺の地形と坂道

■ 早稲田周辺の地形

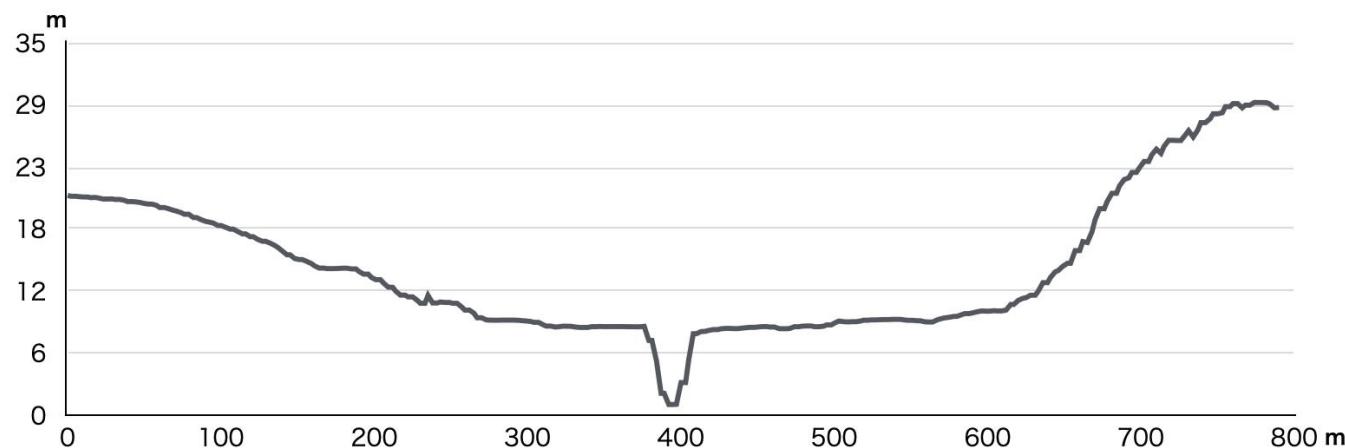
- ・早稲田大学（本部）は、神田川の右岸、台地斜面上に位置する
- ・神田川はこの区間で見事な「非対称谷」を形成している
- ・よって、大学付近の地形は緩傾斜だが、神田川左岸では急崖となる
- ・神田川沿いの新目白通りと台地上の目白通りを結ぶのは全て坂道



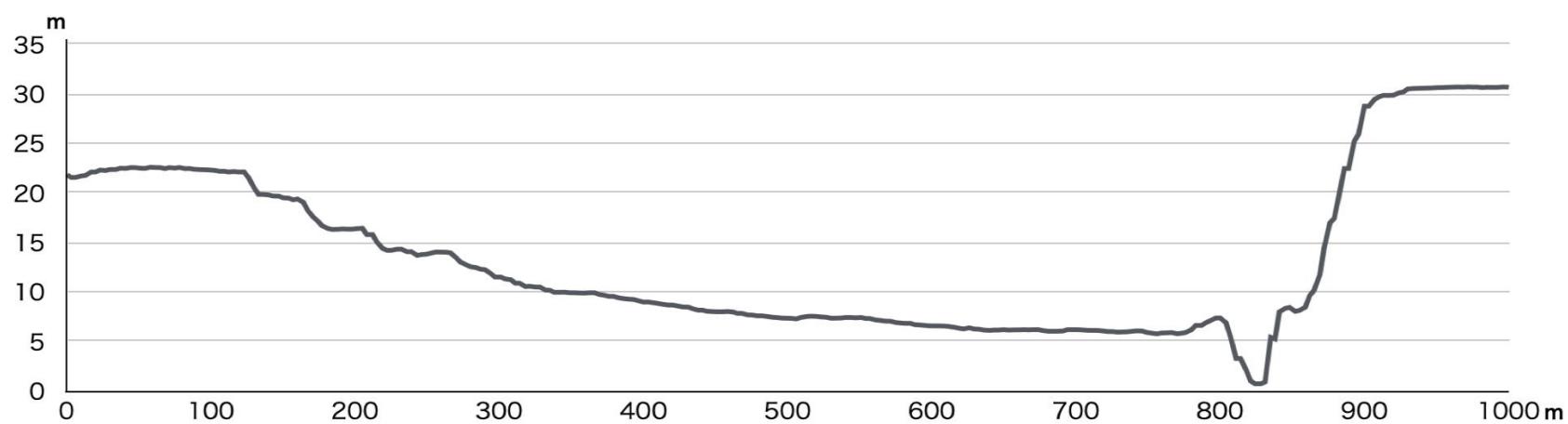
早稲田周辺の標高分布



A-B 断面



C-D 断面



■ 大学周辺の坂道

- ・大学の近隣では

馬場下交差点からセンターに上がって来る「八幡坂」

「八幡坂」の頂上から都電早稲田付近に下る「グランド坂」

馬場下の地下鉄早稲田駅から喜久井町に上る「夏目坂」

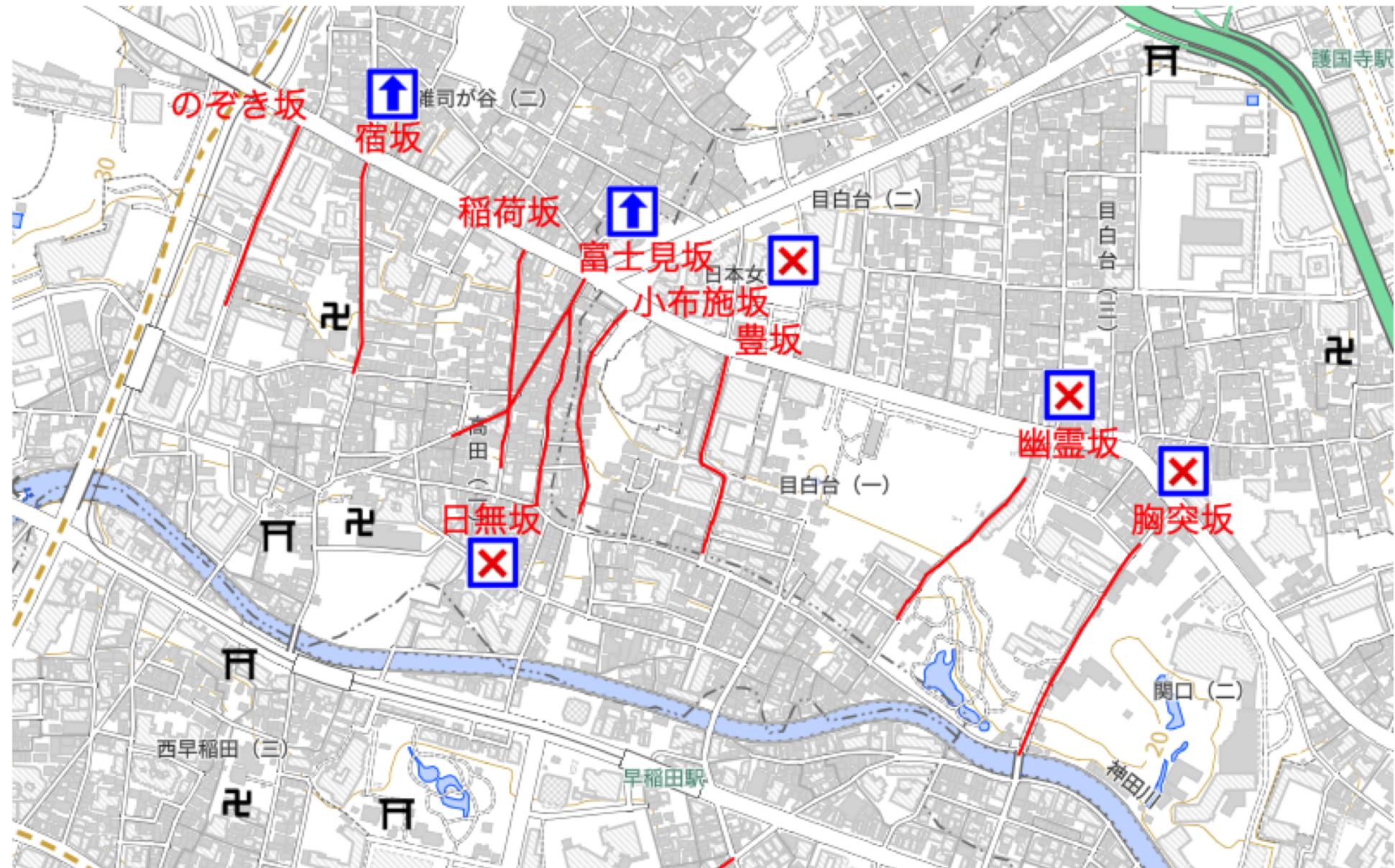
これらはいずれも比較的緩やか、車両両側通行可能な坂道



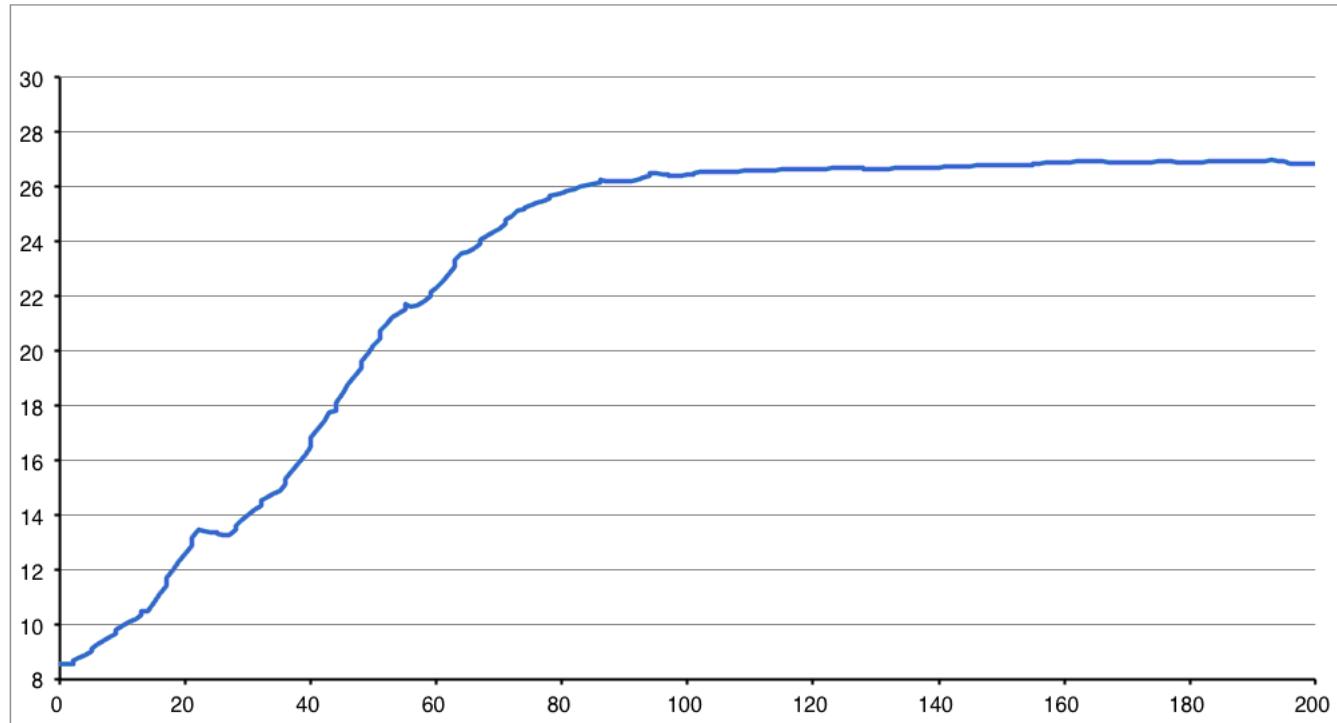
大学近くの坂道

■ 神田川左岸（目白台）の坂道

- ・一方、神田川左岸側の目白台に上る坂道はいずれも急坂
9本の坂道で、階段が2、車両通行不可が2、一方通行が2
一応両側通行できるのは3だが、すれ違い可能なのは2のみ
- ・ここには極めて個性的な坂道が多いので詳しく紹介する



目白台の坂道



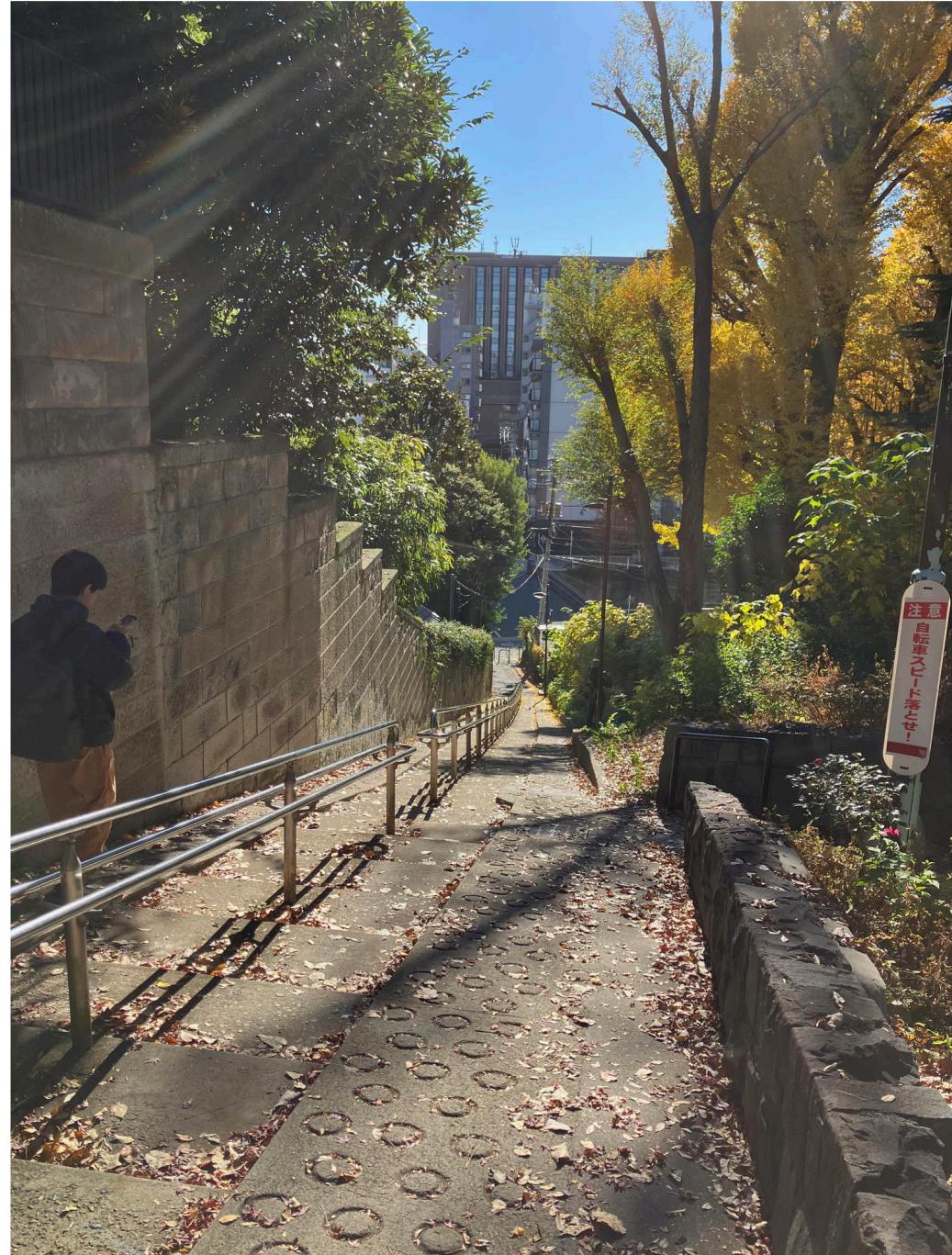
胸突坂



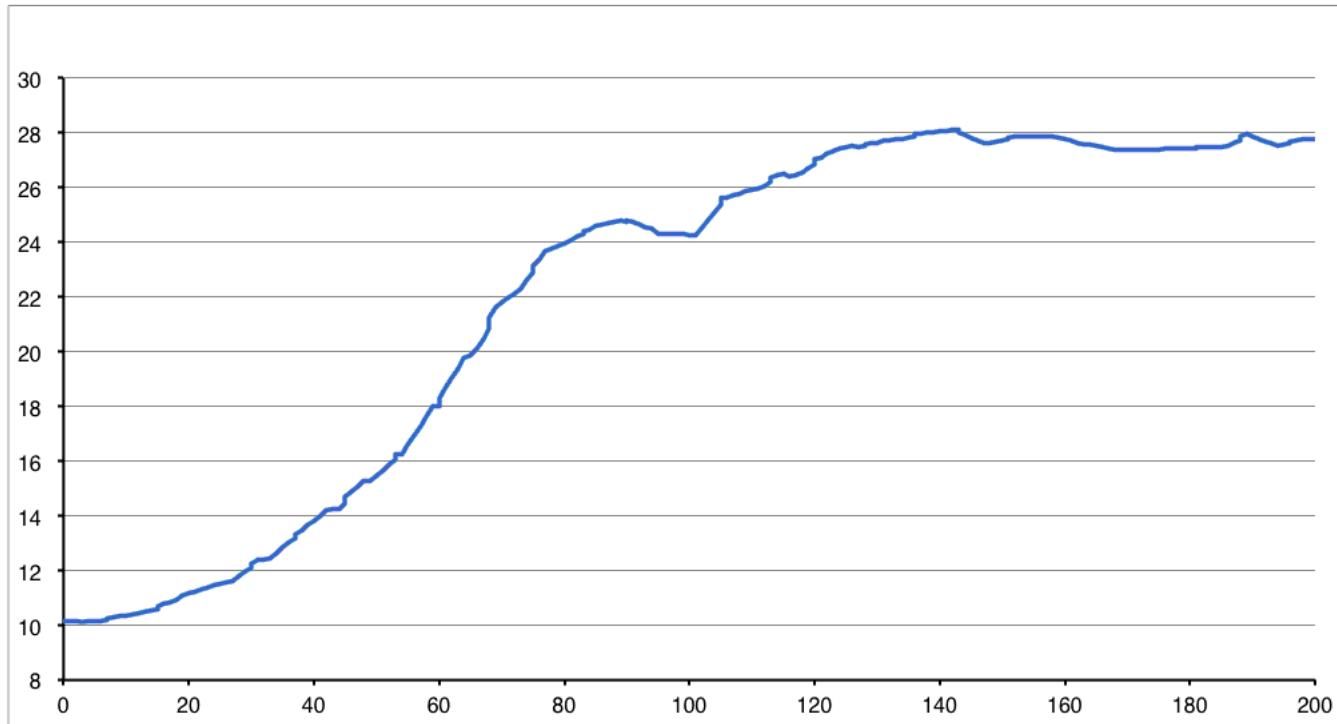
胸突坂（むなつきざか）

文京区関口2丁目と目白台1丁目の間

神田川左岸直近から椿山荘と細川邸庭園の間を上る急坂（階段）。



胸突坂



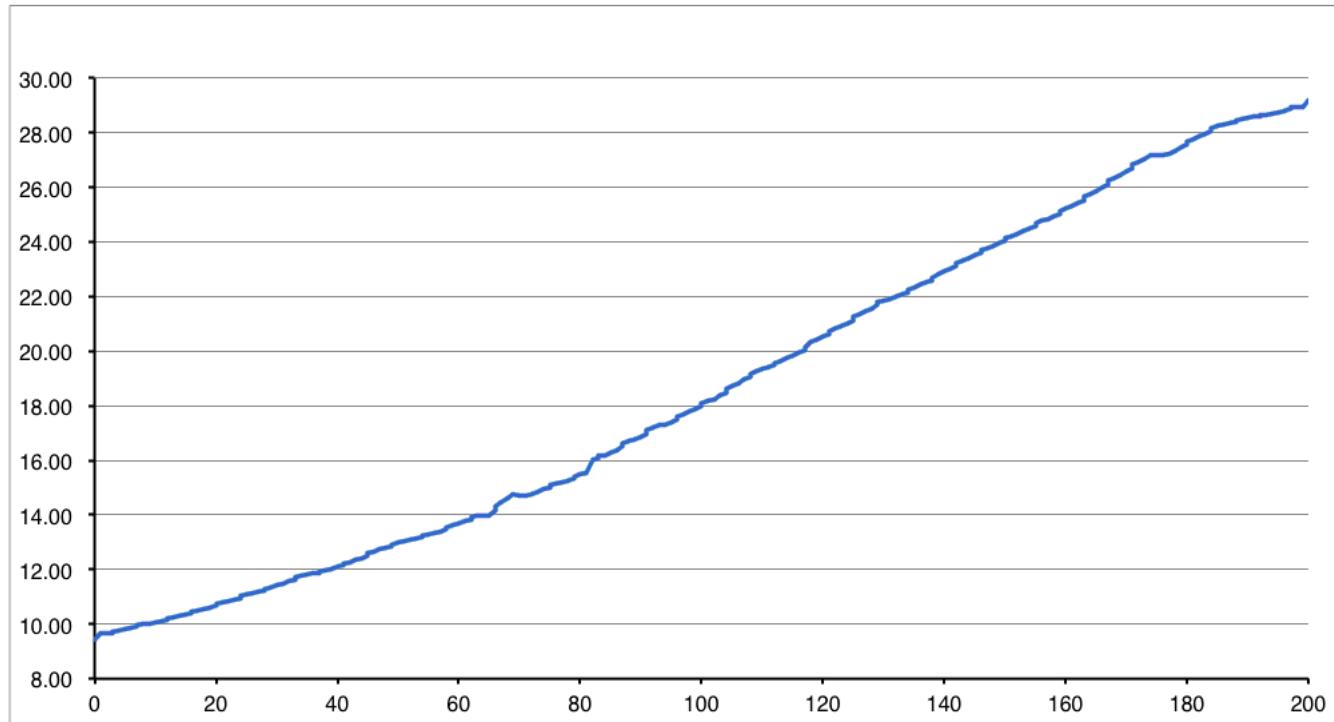
幽霊坂



幽霊坂（ゆうれいざか）
文京区目白台1丁目
細川邸庭園の西側に沿って目白台運動公園と和敬塾の間に至る細道。



幽靈坂



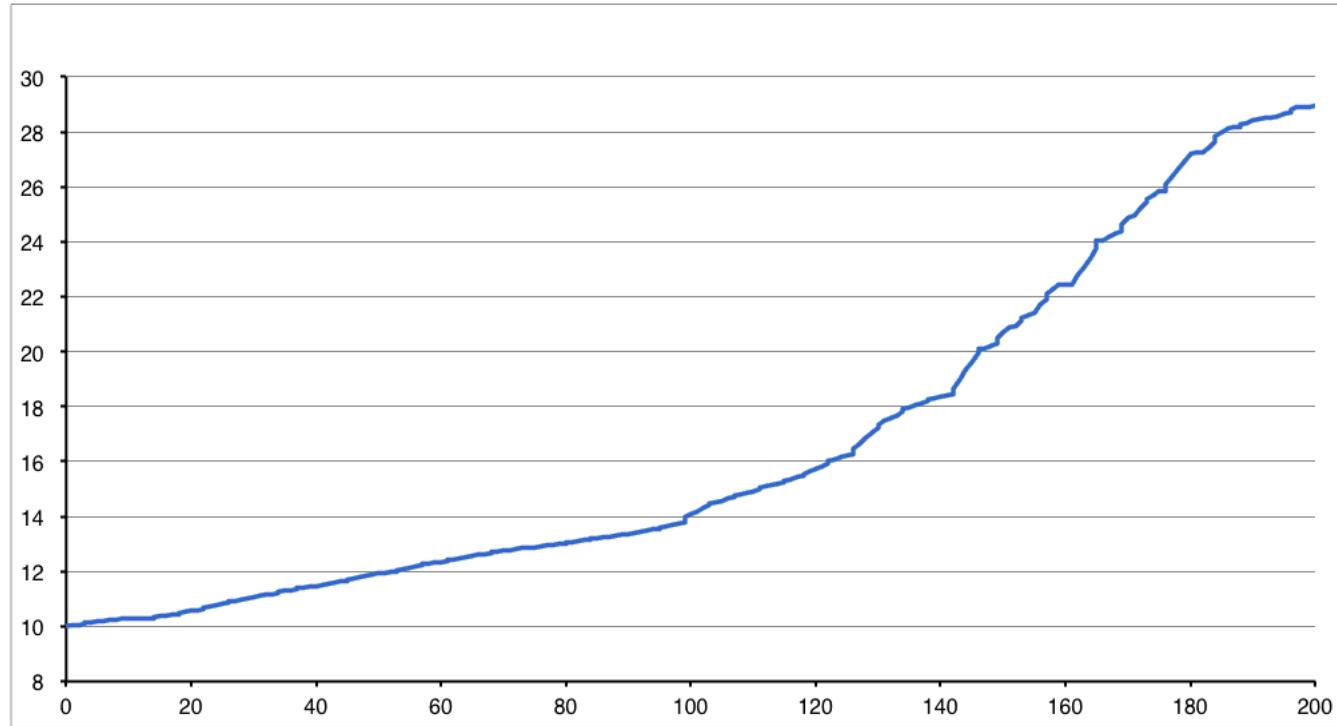
豊坂（とよさか）
 文京区目白台1丁目
 神田川の豊橋から続く道で日本女子大前に上るクランク状の屈曲のある坂。
 のぞき坂と並んでセンターインのある道路。

豊坂





豊坂



小布施坂



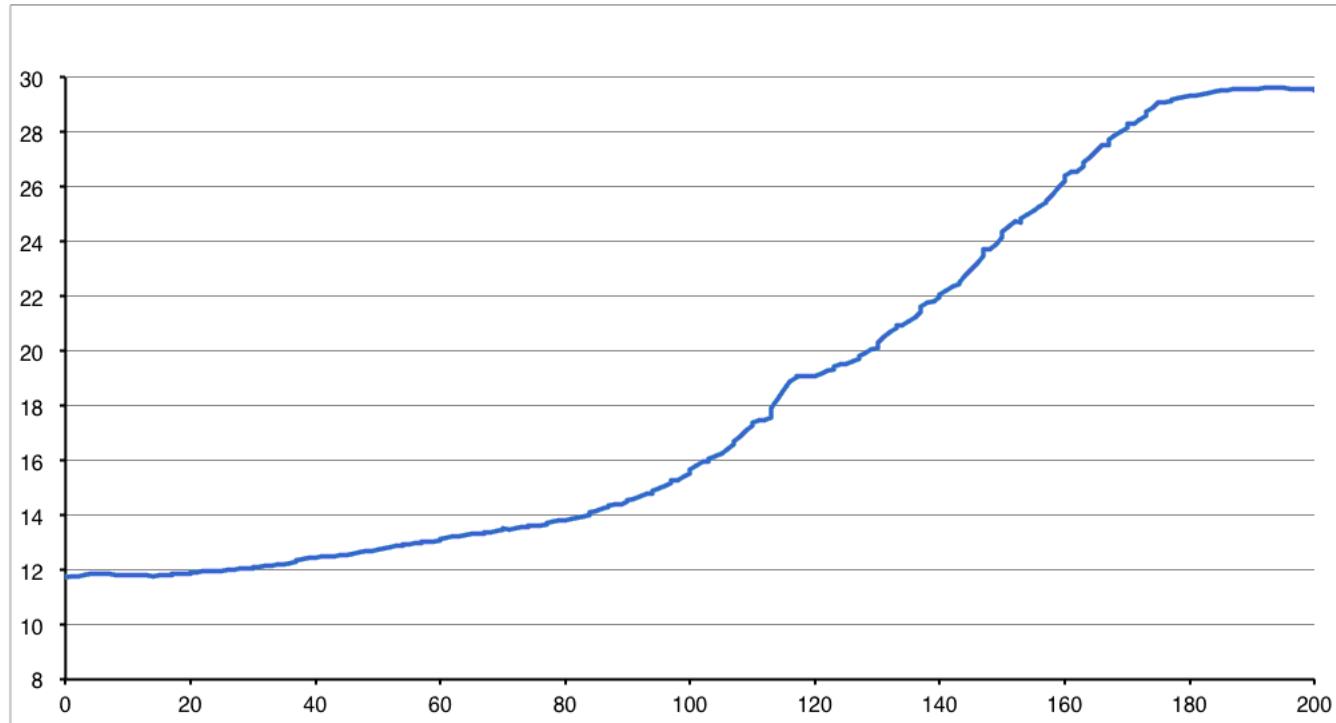
小布施坂 (こぶせざか)

文京区目白台1丁目

住宅地の間から弧を描いて緩く上るが坂上近くで急な階段となる。
隣接して都市計画道路工事中。



小布施坂



富士見坂



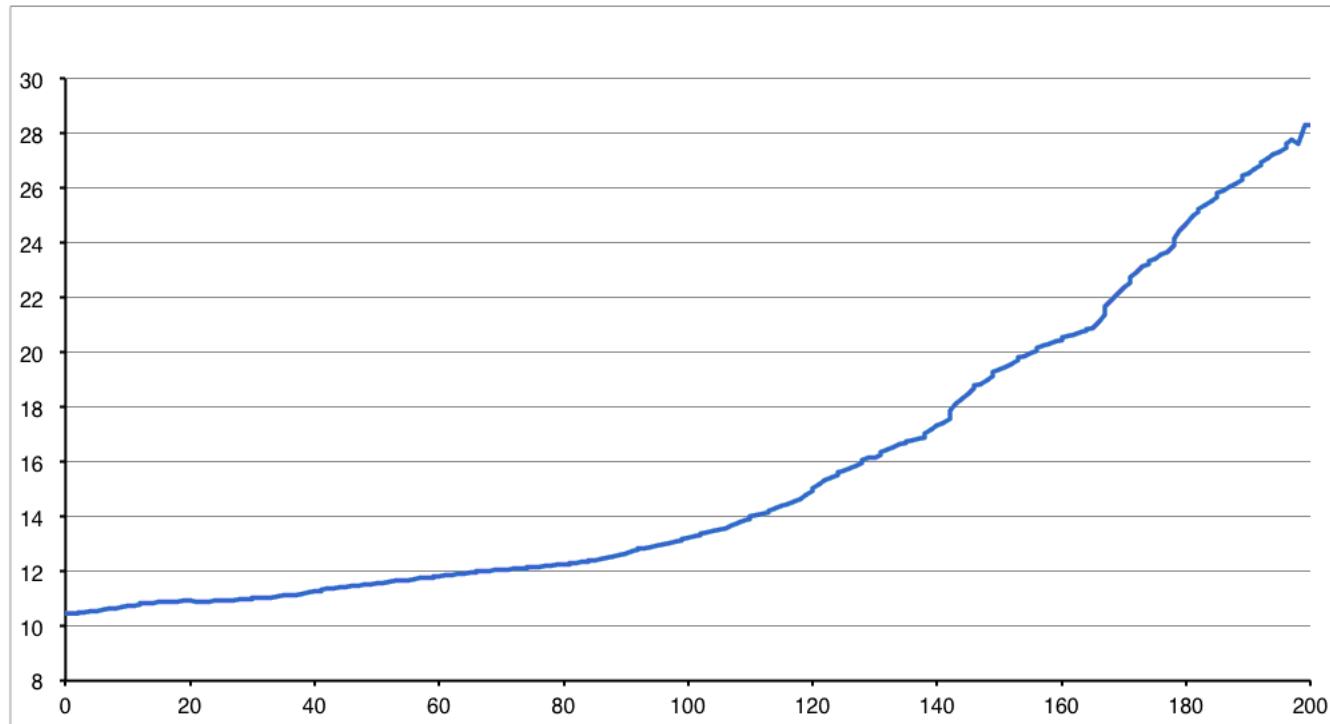
富士見坂（ふじみざか）

豊島区高田1丁目

稻荷坂とのV字状分岐点から直線で目白通りと不忍通りの合流点に上る急な坂。
坂上直前で 日無坂 が合流する。



富士見坂



日無坂



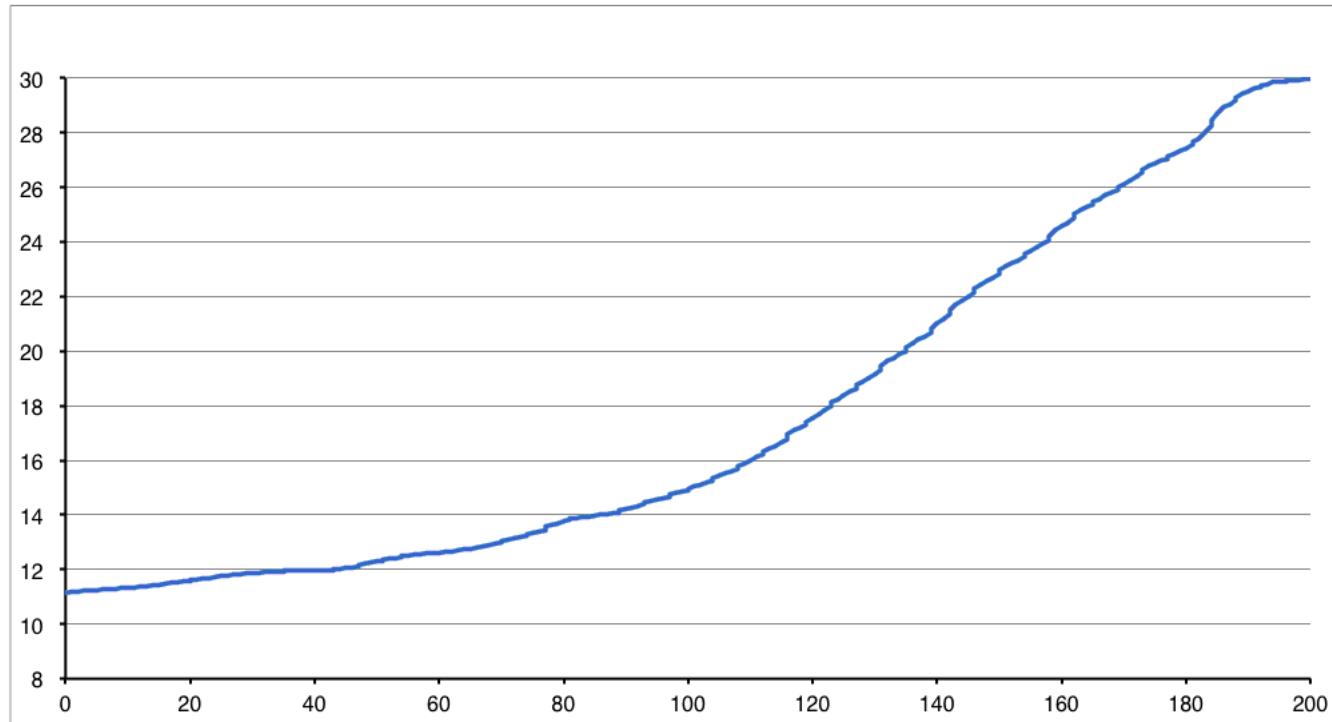
日無坂 (ひなしざか)

豊島区高田1丁目と文京区目白台1丁目の間

住宅街の間を緩く曲がりながら上がり、後半は急な階段となって
坂上で富士見坂に合流する。



日無坂



稻荷坂



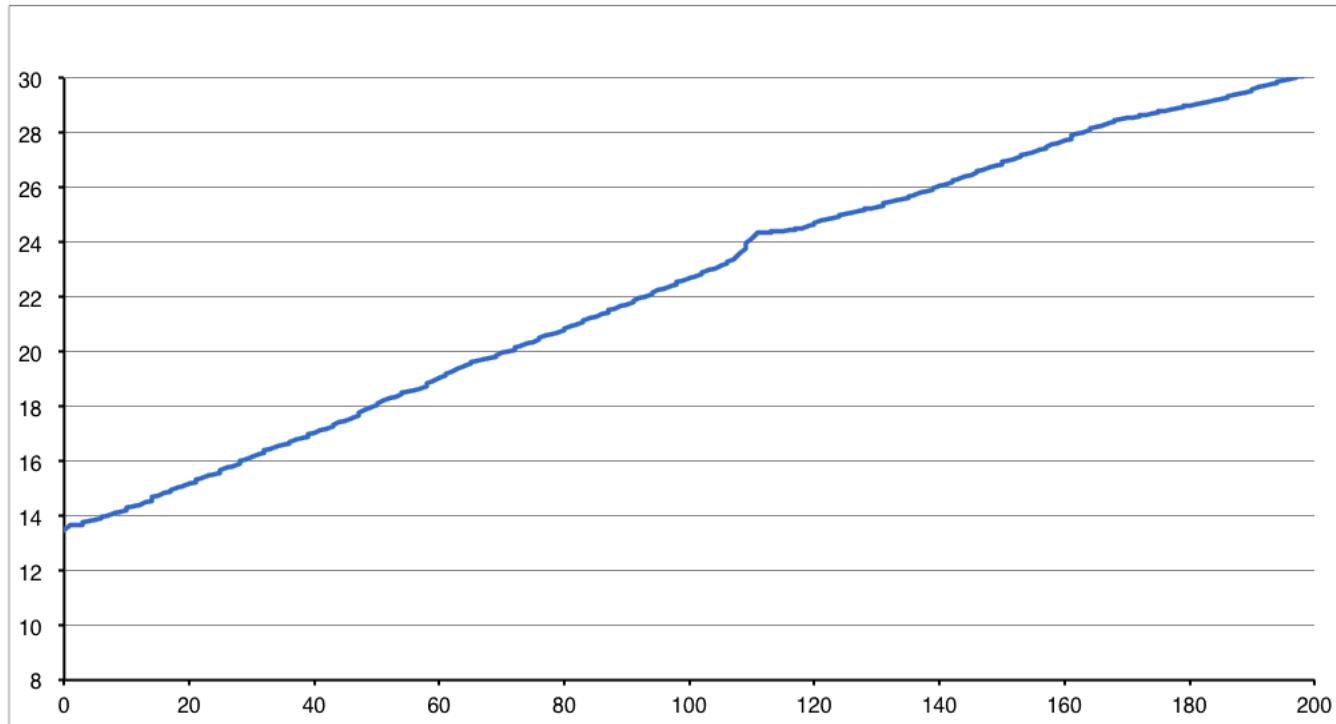
稻荷坂 (いなりざか)

豊島区高田1丁目

富士見坂とのV字状分岐点から直線で目白通りに上る切通しの急な坂。



稻荷坂



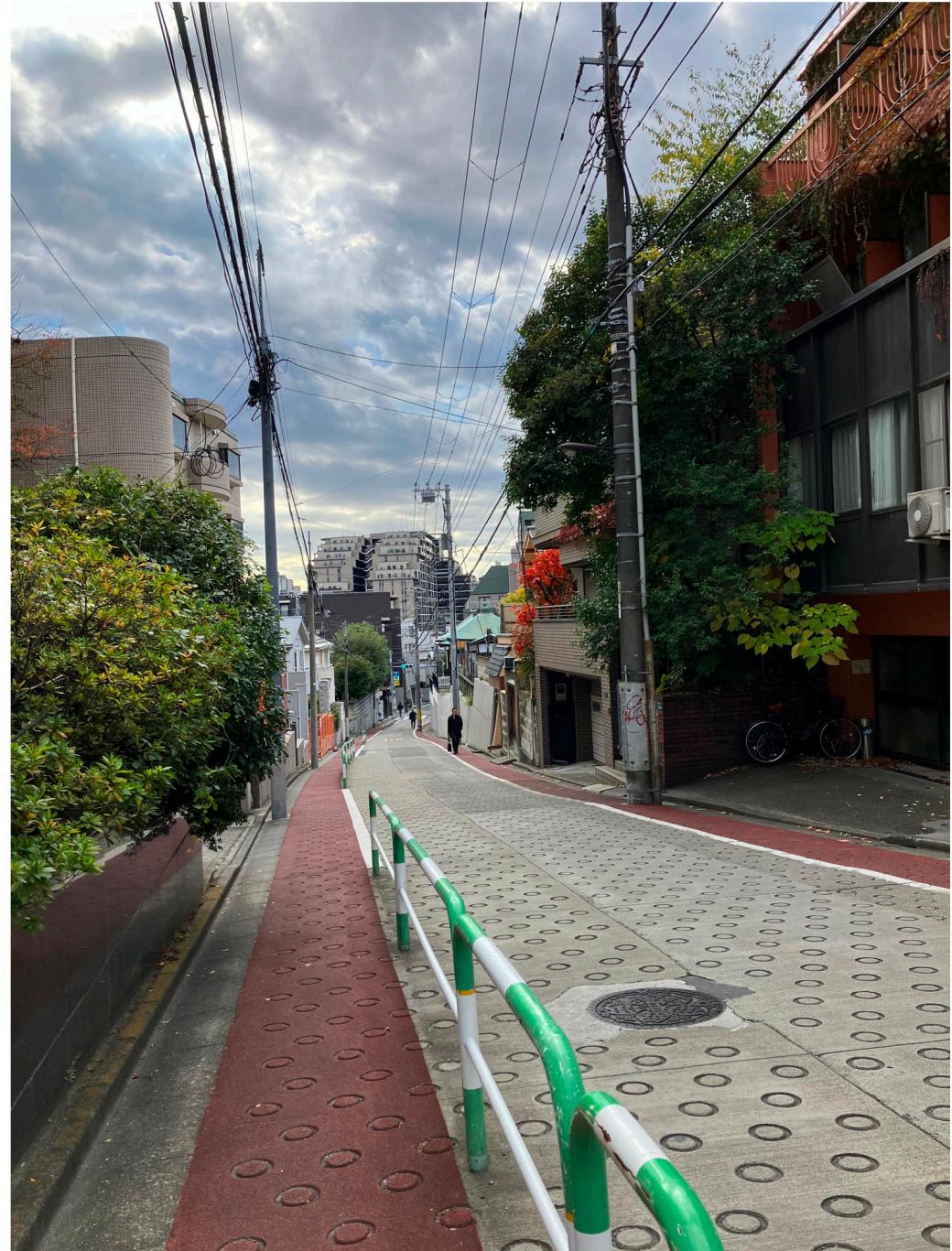
宿坂



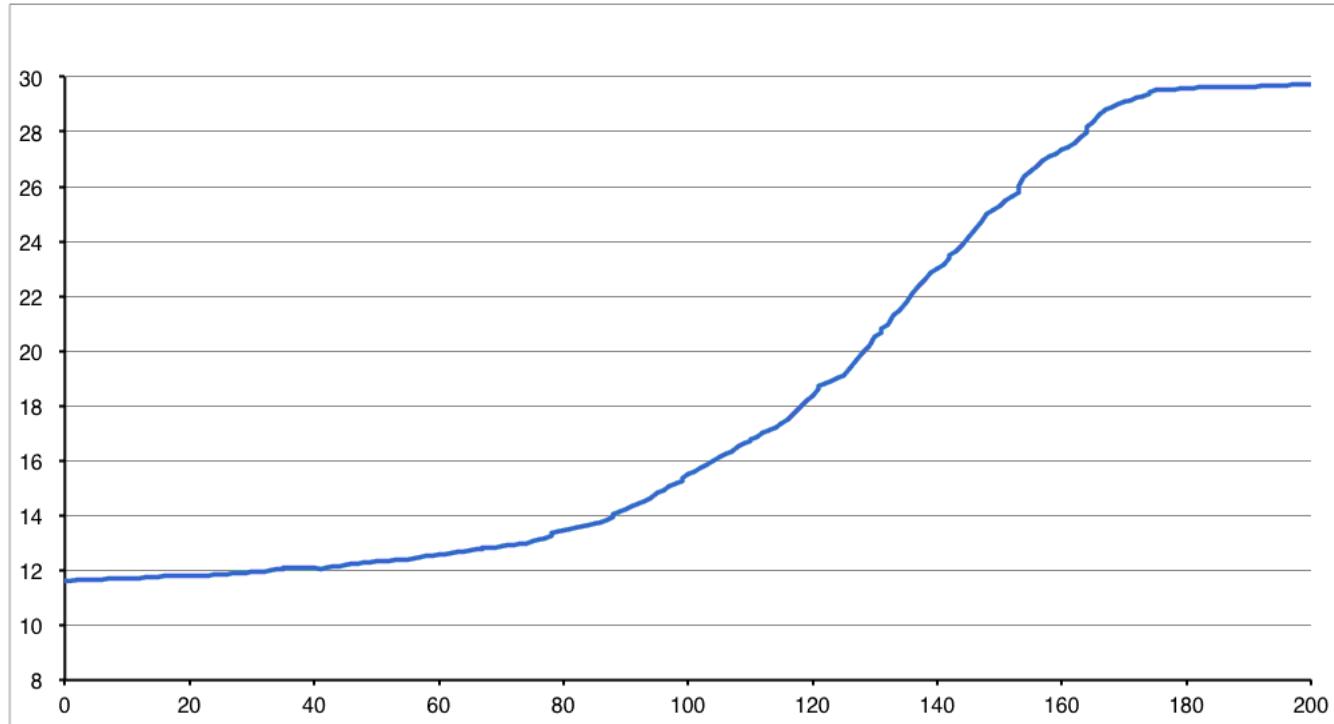
宿坂 (しゅくざか)

豊島区高田1丁目と高田2丁目の間

旧鎌倉街道の坂、目白不動で知られる金乗院前から直線的に上る急な坂。



宿坂



のぞき坂



のぞき坂 (のぞきざか)

豊島区高田2丁目

坂下の半分は緩やかだが坂上にかけて非常に急な坂となる。

センター ラインのある坂道では23区内で最も急峻な坂といわれる。



のぞき坂